

沖縄の**ドングリ**と

多様な生き物のつながり

2026年5月30日(土) 16時から18時

会場: 沖縄キリスト教学院大学・短期大学 仲里朝章記念チャペル

沖縄県中頭郡西原町字翁長777番地

参加費: 無料 事前申し込み: 不要

会場アクセスはこちらから→



沖縄の森には日本で一番大きなドングリであるオキナワウラジロガシや、人が食べても美味しいイタジイ(スダジイ)など、様々なドングリの木が生育しています。森に暮らす多くの生き物の食料となるドングリは、年によって生産量に大きな変動(豊凶)があり、生き物の行動や繁殖に大きな影響を及ぼします。また、ドングリの豊凶パターンは、気候変動の影響をうけることから、「地球環境の物差し」とも言えます。本シンポジウムでは、ドングリの「自然の入り口」としての魅力をお伝えするとともに、人をはじめ、多様な生き物とのつながりについて、話題提供いたします。

<開会挨拶・趣旨説明>

大会会長 照屋建太 (沖縄キリスト教短期大学地域こども保育学科)

<講演>

S01: 「沖縄の**ドングリ**と人との関わり」

盛口 満 (沖縄大学人文学部こども文化学科)

S02: 「沖縄の**ドングリ**をモニタリングする」

高嶋敦史 (琉球大学農学部与那フィールド)

S03: 「沖縄の**ドングリ**と森の動物たち」

小高信彦 (森林総合研究所九州支所)

<総合討論>

コメンテーター

佐々木健志 (琉球大学博物館 風樹館)

山本以智人 (環境省奄美野生生物保護センター)

<閉会挨拶>

沖縄生物学会会長 傳田哲郎 (琉球大学理学部)

<お問い合わせ>

第63回沖縄生物学会大会事務局: okibio63th@gmail.com

